

✧ 海外ニュース ✧

フランス 2015年3月10日 Le Figaro

■ 高速道路に関する作業グループ、国営化より改革を選択

Autoroutes: un groupe de travail préfère la rénovation à la nationalisation

先の1月にマニユエル・ヴァルス首相によって創設された高速道路委員会は、コンセッション会社が速やかに高速道路振興計画を実施することを条件に料金値上げの凍結を解除することに前向きな姿勢を示した。

ドイツ 2015年3月11日 Zeit オンライン版

■ 二輪車ライダー 渋滞の間をスイスイと

Motorradfahrer Zack durch den Stau

大多数の二輪車ライダーが、アウトバーンで渋滞に遭った時、法律で禁止されているにもかかわらず、自動車の間を巧みにすり抜けて走行する。あるバイク愛好家が、嘆願書によって渋滞のすり抜け走行の合法化を求めている。フランス、イタリア、オランダ、イギリスの警察は、二輪ライダーが渋滞の際に車の間をすり抜けて進むことをやむを得ないこととして許容し、処罰の対象にはしない。

ドイツ自動車連盟は、解決案として路肩であれば並行する車両との空間が十分に保つことができるとして、二輪車ライダーに路肩を開放する案に期待をかけている。

ドイツ (EU) 2015年3月11日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ EU が寸法と重量を議決

EU entscheidet über Maße und Gewichte

欧州議会は火曜日にストラスブールで、トラックの寸法に関する新しい指令を議決した。

車長の長いトラックの認可については今後5年以内に決定するとされ、それまでは国境を越えての通行は許可しないとのことである。

フランス 2015年3月12日 ASFA

■ 逆走をドライバーに知らせるため、すべての高速道路ラジオ局にて共通の警告音を導入

UNE ALERTE SONORE COMMUNE A L'ENSEMBLE DES RADIOS D'AUTOROUTES 107.7 POUR PREVENIR LES AUTOMOBILISTES D'UN CONTRESENS

高速道路では毎年400件近くの逆走が検知されている(料金所や路肩でのバック走行、反対方向の車線への侵入)。高速道路で一番多く聴かれている高速道路ラジオ107.7局ではこのたび、逆走が検知された場合に警告音を発してドライバーに注意を喚起する新しいシステムを導入する。

フランス 2015年3月12日 Le Figaro

■ ル・フォール報道官、高速道路をめぐる議論に「満足していない」

Autoroutes: Le Foll "pas content" du débat

政府のステファン・ル・フォール報道官が木曜日、高速道路会社の収益について、この半年繰り広げられてきた議論について「あまり満足していない」と発言。問題の発端となった競争委員会報告書の結論に疑問を投げかけた。「すべては高位の機関による報告書から始まった。その報告書は富の強奪がなされているという見解を示すもので、その後、皆がこの見解を前提として議論に参加した。そして必要な議論や対話を重ねた末、実際にはそのような強奪はなく、ただ現在のシステムの再調整を図らねばならないという認識に至ることとなった」——同報道官はRMC/BFMTVの番組内で、社会党のジル・サヴリー議員の言葉だと前置きした上でこう述べた。

ドイツ 2015年3月12日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ **ドブリント交通相、車長の長いトラックの实地実験結果に満足**

Dobrindt mit Lang-Lkw-Feldversuch zufrieden

ドブリント連邦交通相は、車長の長いトラックの实地実験について中間報告を発表した。その結果、普通のトラック3台は車長の長いトラック2台に置き換え可能であることが確認された。

ドイツでは2016年末まで車長の長いトラックの实地実験が行われており、現在112台が参加している。ドブリント氏によれば、効率性の上昇率と燃料節減率は15～25%だという。

ドイツ 2015年3月14日 Spiegel オンライン版

■ **交通安全：警察が見物行為に対する罰則強化を求める**

Verkehrssicherheit: Polizei will Gaffer härter bestrafen

道路が渋滞して救急の医師が通り抜けるのはほとんど不可能……事故現場を撮影する人が数人いるだけで、このような状況に陥ることがある。野次馬は事故の際に問題になる。このたびドイツ警察組合が、見物の行為をそれ自体独立した制定法上の犯罪とするよう要求した。

フランス 2015年3月17日 Goodplanet

■ **騒音削減計画案をパリ市議会が承認**

Approbation au Conseil de Paris d'un projet de plan de réduction du bruit

計画では「パリ騒音環境バロメータ」を導入する、市民や特にオートバイ運転手への啓発活動を実施する、2020年までに環状高速道路の「住宅地との境界区間の全体」に低騒音舗装を施工する（35kmの30%）、2020年までに「主要幹線道路外を対象とした時速30kmゾーン新設プログラム」を実施する、特定の時間帯に車の通行を禁止する交通制限ゾーンを創設する、などが予定されている。

ドイツ 2015年3月17日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ **アウトバーン2号線、大規模工事のため2017年まで一部通行止めに**

Großbaustelle auf der A2 sorgt bis 2017 für Sperrungen

ノルトライン＝ヴェストファーレン州道路工事は、大規模工事の実施により9.3kmの区間で車線や橋梁の改修工事を計画している。工事が実施されるのは、カーメン／ベルクカーメンJCTとドルトムント北東部を結ぶ区間の両車線である。

スペイン 2015年3月17日 Cinco Días オンライン版

■ **建設業者は自動車専用道路の有料化を求めている**

Las constructoras piden poner peaje en las autovías

スペイン建設企業協会の提案では、国民にインフラやサービスの利用に対する支払いを課すことだ。それによって4年間で102億ユーロの投資になると試算している。これは、現在は基本的に無料である自動車専用道路において、小型車両からトラックまで走行距離1kmあたり低額（3～14セント）の道路利用料金の導入を想定している。

フランス 2015年3月18日 Le Figaro

■ **大気汚染の悪化を受け、最高速度の引き下げ措置を実施**

Pollution: la vitesse maximale autorisée réduite

パリ警視庁によると、首都パリの粒子状物質による大気汚染の悪化を受け、イル＝ド＝フランス地域圏の高速道路、一般道路、中央分離帯のある幹線道路の最高速度が今朝より時速20km引き下げられている。

ドイツ (EU) 2015年3月27日 連邦交通省

■ ドイツ連邦議会、インフラ利用税の導入とトラック課金の拡大を可決

Bundestag beschließt Infrastrukturabgabe und Ausweitung der Lkw-Maut

インフラ利用税導入法ならびに連邦遠距離道路課金法の改訂によって、ドブリント連邦交通相は利用者負担拡大へ向けての重要な布石を打った。

2015年7月1日にはトラック課金が拡大され、アウトバーンに類似した連邦道路の総距離約1,100 kmに相当する区間が新たに対象となる。

ドイツ 2015年3月30日 Zeit オンライン版

■ クルーズコントロール：暴走に歯止めを

Tempomat: Vom Ende der Raserei

大きな手間をかける必要もなく、非常に多くの人命を救うことのできる技術が具体的に存在する。車両に実際に組み込まれる日が来た場合の話ではあるが。その技術とはISA（自動速度制御装置）である。

国民経済の観点からみても、ISAのもたらす恩恵は大きい。事故の回避、また駆動燃料消費量ならびにCO₂排出量を削減することで節約できる金額は、この技術の全面導入に必要な経費の7倍を越す。

ドイツ 2015年3月31日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ 市民は都市部の自動車の数はもっと少ないほうが望ましいと考えている

Bürger wollen weniger Autos in Städten

ドイツ人の5人に4人は、都市部の自動車の数はもっと少ない方が望ましいと考えている。今年度の環境意識調査では、回答者の82%が自動車の代替交通手段として近距離公共交通機関や自転車専用道路、歩道を拡充することに賛成と答えた。